

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	児童生徒指導特別支援事業						担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	学校教育課				
	事業期間	平成16年度			～		平成30年度以降		担当係	学校教育係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 学校教育		3 いじめ・不登校を防止する						
		副目的											
	予算区分	款	10		項	1	目	3		大	8 中 2		
	根拠法令・個別計画												
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	100 %			委託	0 %			助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	学校・学級不適應を起こしている児童生徒に適切な支援・指導を行う。											
	内容 (手段)	<p>・小中学校に「スクールサポーター(教員免許なし)」を配置し、主としてクラスに入って児童生徒の指導で担任を補助する業務及び児童生徒の不登校の対応など、個々に対しきめ細やかな対応をした。(小学校16名、中学校10名を配置)</p> <p>・「特別支援教育相談員」が各校を巡回し、面談や発達検査・ケース検討を行い、より適切な対応を模索し、指導と支援を進めた。(相談員1名)</p> <p>・学識経験者や医師が「こどもこころの相談室相談員」として、小中学校を巡回し、学校の援助チームとともに支援をおこなった。</p> <p>・大学生を「学習チューター」として、小中学校および公立幼稚園へ派遣し、授業や学校生活の支援をおこなった。</p> <p>【直接経費】 こどもこころの相談室相談員、学習チューター謝礼(2,095千円) 旅費(12千円) 保険料(18千円) 備品購入費(120千円)</p>											
受益者負担	無												

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	13	25	2,246	3,872	
		正職員	従事者数	人	0.80	0.80	0.80	0.80
			人件費	千円	4,255	4,255	4,255	4,255
		その他職員	従事者数	人	11.00	27.10	27.00	28.00
			人件費	千円	24,548	56,619	56,475	61,283
		費用合計	千円	28,816	60,899	62,976	69,410	
	対前年比	%			211.3	103.4	110.2	
財源	一般財源	千円	28,816	60,899	62,976	69,410		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	学習チューター人数	人	目標	—	—	—	—
			実績	45	71	78	
			目標				—
			実績				
			目標				
実績							
績	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	学習チューター活動回数	回	目標	—	—	—	—
			実績	753	1,041	1,451	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	不適応児童生徒個々に対し、きめ細かな対応をすることができるため、子どもたちに適切な指導をすることができた。学習チューターの認知度が学校、学生間に広がり、学習チューターの活動回数が増加した。			
		事業実施における課題等	全員が非常勤であり、どのようにして恒久的に有能な人材を確保できるかが課題である。			
		事業を縮小・廃止したときの影響	心を支える環境を整えることが難しくなることで、子どもたちへの対応が困難となり、学級運営に支障をきたす。			
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持				
	判定理由	問題行動の原因は多種多様であり、スクールサポーターや相談員による個別の対応が有効であるため、現状維持と判定した。				
	改善案等	恒久的に有能な人材を確保の手法を検討する。				

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	現状維持	一次評価のとおり。				